

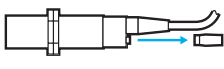
形E4PA-N

設定／操作手順

形E4PA-Nは、工場出荷時に出力増加特性で最大測定範囲に設定されていますので、お客様の接続機器(例えば形K3NX)はそのままスケリングが可能です。**4** の設定のみ実施してください。

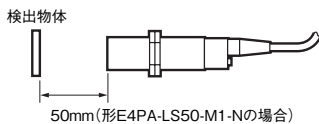
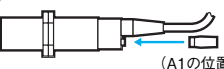
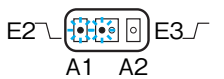
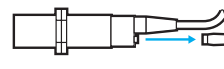
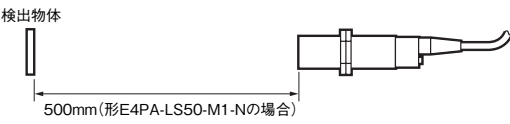
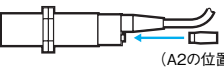
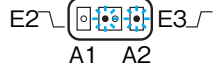
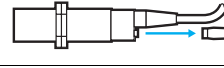
なお、アナログ出力範囲を変更したい場合は、以下の**1** → **2** → **3** → **4** の手順に従ってください。

1 設定準備

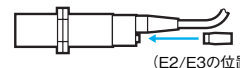
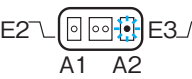
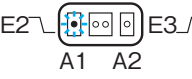
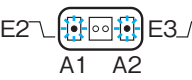
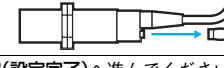
手順	設定/操作
①	設定プラグを外します。 
②	電源を投入します。 注. 設定プラグは、まだ挿入しないでください。*
③	2 測定範囲の設定へ進んでください。

*電源投入後5分以上設定プラグが挿入されない場合は、設定不可能となりますので、その際は電源を再投入して始めてください。

2 測定範囲の設定

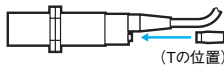
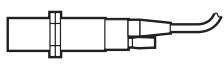
手順	設定/操作
①	検出物体を測定範囲の一番近いところへセットします。 
②	設定プラグをA1の位置で挿入します。 (本体側切り欠きマークと設定プラグ側A1の三角マークを合わせます。)  電源表示灯(緑)とA1側の動作表示灯(黄)が点滅します。 (正しい近距離設定範囲であることを示します。) 
③	設定プラグを抜き取ります。 (プラグ抜き取り時の状態で設定されます。) 
④	検出物体を測定範囲の一番遠いところへセットします。 
⑤	設定プラグをA2の位置で挿入します。 (本体側切り欠きマークと設定プラグ側A2の三角マークを合わせます。)  電源表示灯(緑)とA2側の動作表示灯(黄)が点滅します。 (正しい遠距離設定範囲であることを示します。) 
⑥	設定プラグを抜き取ります。 (プラグ抜き取り時の状態で設定されます。) 
⑦	3 アナログ出力特性のモード設定へ進んでください。

3 アナログ出力特性のモード設定

手順	設定/操作
①	設定プラグをE2/E3の位置で挿入します。 (本体側切り欠きマークと設定プラグ側E2/E3の三角マークを合わせます。) 
<p>↓ E2/E3の位置で再挿入すると、モードが変更されます</p> <p>↓ E2/E3の位置で再挿入すると、モードが変更されます</p>	
<p>〈A2の動作表示灯(黄)が点滅した場合〉</p> <p>●アナログ出力増加特性モード</p> <p>検出物体が設定範囲内で、形E4PA-Nからの距離が大きくなるとアナログ出力が増加(4→20mA/0→10V)する特性に設定します。 </p>	
<p>〈A1の動作表示灯(黄)が点滅した場合〉</p> <p>●アナログ出力減少特性モード</p> <p>検出物体が設定範囲内で、形E4PA-Nからの距離が大きくなるとアナログ出力が減少(20→4mA/10→0V)する特性に設定します。 </p>	
<p>〈A1とA2の動作表示灯(黄)が、同時に点滅した場合〉</p> <p>●アナログ出力0mm出力特性</p> <p>検出物体が、0mmから最遠点の範囲内で、形E4PA-Nからの距離が大きくなるとアナログ出力が増加(4→20mA/0→10V)する特性に設定します。 </p>	
②	アナログ出力特性を決定した後、設定プラグを抜き取ります。 
③	4 通常使用モード(温度補償有)の設定(設定完了)へ進んでください。

注. 「定格／性能」のアナログ出力(参照→形E4PA-N)および接続機器の入力インピーダンスをご確認ください。

4 通常使用モード(温度補償有)の設定(設定完了)

手順	設定/操作
①	設定プラグをTの位置で挿入します。 (本体側切り欠きマークと設定プラグ側Tの三角マークを合わせます。) 
②	設定プラグを挿入したままにしてください。(設定完了) 
<p>注. 温度補償を維持するためには、動作中の設定プラグは挿入したままにしてください。 設定プラグが形E4PA-Nから外れた状態では、温度補償は無効です。</p>	

注. 検出物体からの反射が非常に弱かったり、検出物体が測定範囲外に設置されている時は、エラー表示灯(赤)が点滅し、測定範囲が正確に設定されなかったことを表示します。設定プラグが5分以上挿入されなければ、温度補償のない状態(設定以前の状態)に戻ります。

1 → **2** → **3** → **4** の手順で設定後、**2** 測定範囲、**3** アナログ出力特性を変更する場合は前設定内容は記憶されていますので、変更箇所のみ再設定で変更完了となります。手順は、**1** → **2** または **3** 再設定 → **4** 完了